

加入者・受給者へ

「消えた年金」記録めぐり

# 一億人レター作戦 共産党の提案 政府動かす

## 自分の年金は だいじょうぶか？

…町役場で閲覧できるように…

「消えた年金」問題から町民の中にも不安が広がっています。ある町民から「他市町で、自分の年金保険料の納付記録を見られるようにしたと報道している。甲良町でも希望すれば見られるようにならないか」との要望が寄せられました。

西澤議員が町役場で問い合わせたところ、担当窓口では、本町の場合、社会保険庁が一元管理するようになった平成14年4月後も、国民年金の納付記録は廃棄していない、現在閲覧できるよう準備中。本人の記録なので「情報公開」の手続きをしてもらってもなく、できるだけ早く希望に対応したい、としています。

7月中に対応できる予定、とのことですので、担当窓口（総務課・住民グループ：38-5063）にお問い合わせください。

なお、町役場の扱いは国民年金だけです。

## 甲良民報

2007年7月8日 360号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土463  
Tel.Fax38-4949

Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ

<http://www.jcp-nobuaki.com/>



## 道理ある提案に力が…

厚生労働省は「消えた年金」の不安に添えるため、約1億人の加入者・受給者に政府が掌握している年金保険料の納付記録を送付する方針を固めたことが判りました。6月28日の厚生労働委員会でも日本共産党・小池参議院議員の追及に柳沢厚生労働大臣が答えたもの。

これを受けて、志位和夫委員長は「できるだけ速やかに、ただちに行うことを求めている」と強調しました。

「5千万件の宙に浮いた年金」問題が発覚してから「自分の年金はだいじょうぶか??」との不安がひろがり、社会保険庁の電話はほとんどつながりません。日本共産党は、政策以前の国家の管理能力が問われる問題だ」と指摘。責任のなすりあいをやめ、政府・国会が解決の知恵を集め、「不安な者は電話してこい」ではなく「あなたの納付記録は、このようになっていますが、まちがいないですか?」と国の責任で知らせるべきだと早くから主張してきました。6月19日には志位委員長が安倍総理に「1億人レター作戦」を要請。自民党中川幹事長も同種の発言を行い、テレビのコメンテーターが「共産党の提案が一番わかりやすい」と発言するなど、政府批判の世論が無視できない広がりを見せたことが背景にあります。

そもそも、「人が生きていける年金制度を」と主張する日本共産党だからこそできる道理ある提案に力があることを示したのでないでしょうか。

## 何が「大丈夫」か！

自民党・山下英利参議院議員の「あなたの年金は大丈夫です」とのチラシを読んだBさんから次の投書がよせられました。

まず、「この見出しを見て、何が大丈夫や!! けしからん」10年間も隠し続けておいて! と怒りがわいてきました。今、国民が抱えている不安を自民党という政党はチットも解っていないなあ、と思いました。もともと、満額もらっても人間らしいくらいしかできる金額ではありません。月額5万円以下の国民が大多数いるのです。しかも、3年前に「持続可能な年金制度」とか「百年安心年金プラン」と言いながら、保険料を毎年引き上げ、受け取る年金額を毎年けずる改悪を強行したのはだれですか!!

そこへ、今回の「宙に浮いた年金」問題が発覚し、年金に対する国民の不安に火をつけたのです。それだけでなく「大丈夫です」と言えたものです。

自民・公明はウソつきもはなはだしい。選挙目当てに調子のいいことを言う政党・議員に政治はまかせられません。